

教 育 委 員 会 定 例 会 議 録

1 日 時

令和5年7月25日(火)
開会 9時30分
閉会 9時58分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 福永和伸教育長、大森達也委員、北野誕水委員、栗須百合香委員
富樫健二委員
欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 福永和伸(再掲)、副教育長 上村和弘
次長(教職員担当) 佐藤史紀、次長(学校教育担当) 井ノ口誠充、
次長(育成支援・社会教育担当) 山添達也、次長(研修担当) 荻田直樹
教育総務課 課長 浮田知樹、班長兼企画員 米澤道隆
教職員課 課長 福井崇司、班長 若宮一哉、主査 鈴木良典
小中学校教育課 課長 早田清宏、充指導主事 篠田美希、
充指導主事 浅井祐治
保健体育課 課長 堀越英範、充指導主事 天白喜啓

5 報告題件名

報告1 令和6年度三重県公立学校教員採用選考試験第1
次選考試験の実施状況について
報告2 令和7年度三重県公立学校教員採用選考試験につ
いて
報告3 令和5年度第2回三重県教科用図書選定審議会の
結果について
報告4 第70回東海高等学校総合体育大会の結果及び令
和5年度全国高等学校総合体育大会の三重県選手
団について

6 審議の概要

・開会宣言

福永和伸教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

5名中5名の委員の出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（7月4日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名者の指名

大森委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

会議の進行は、報告1から順に報告を受ける順番とすることを決定する。

・報告事項

報告1 令和6年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について（公開）

（福井教職員課長説明）

報告1 令和6年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について

令和6年度三重県公立学校教員採用選考試験第1次選考試験の実施状況について、別紙のとおり報告する。

令和5年7月25日提出 三重県教育委員会事務局 教職員課長

1枚おめくりください。1ページにあります表が、第1次試験の受験状況を取りまとめた表でございます。令和6年度採用の欄の一番下の合計欄をご覧ください。申込者数が2,228人であったところ、受験者数は2,057人ということで、受験率にしますと92.3%となりました。参考に、右側の昨年度実施の試験との比較ですけれども、昨年度は受験率が91.7%でしたので、今年度少し上昇したという状況でございます。

おめくりいただきまして、2ページは、校種・教科別の実施状況を詳細に表したものでございます。さらに3ページは、歴年の実施状況を年度ごとにとりまとめたものでございますので、参考にご覧いただければと思います。

説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告1はいかがでしょうか。

－全委員が本報告を了承する。－

・報告事項

報告 2 令和 7 年度三重県公立学校教員採用選考試験について（公開）

（福井教職員課長説明）

報告 2 令和 7 年度三重県公立学校教員採用選考試験について

令和 7 年度三重県公立学校教員採用選考試験について、別紙のとおり報告する。

令和 5 年 7 月 25 日提出 三重県教育委員会事務局 教職員課長

1 枚おめくりください。こちらは来年度実施の試験の日程についてのご報告でございます。まず、第 1 次選考試験の日程ですけれども、これまで実施していました 7 月中旬から約 1 ヶ月早めまして、実施することといたしました。

このことは、文部科学省から来年度実施の教員採用選考の第 1 次選考の実施日程について、6 月 16 日を 1 つの目安として、できるだけ前倒しを積極的に検討するよう依頼があったことによるものでございます。

具体的には、「1 実施日程について」というところで、第 1 次選考試験は、令和 6 年 6 月 15 日土曜日、第 2 次選考試験は 7 月中に実施予定、最終の合格発表は 8 月中に発表するという予定にしております。

説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告 2 はいかがでしょうか。

大森委員

まず、1 つ目は、この 6 月 15 日というのは、この前の 7 月中旬に全国都道府県教育委員会連合会総会があってそこでも言われてたんですけど、4 年生の教育実習のちょうど真っ盛りに該当する。1 日から始めていても 14 日に終わるとかあると思うんですけど、その辺はもうやむを得ないということ。それから 2 つ目は、今回はこれ東海地区だけが同じ日っていうイメージなんですかね。いわゆる全国统一テストみたいにするという話もあると思うんですけど、その辺の意見を教えてください。

福井課長

まず、教育実習についてですけれども、重なってくるということが懸念されましたので、予め県内の大学とは調整いたしまして、この第 1 次選考試験の週は外していただくようにという調整をしているところです。大学によっては、これよりも前に終わらせてっていう大学もありますし、逆にこの 1 次試験が終わってから実施をするという大学もありますけれども、いずれにしてもこの週は重ならないように外していただくっていう調整も全体でしているところです。

大森委員

それについては、受け入れ側の高校とかもそれを受け入れてもらえるようにしているんですか。

福井課長

同じように調整をしております。

大森委員

例えば、5月のゴールデンウィーク明けくらいから行けるように。

福井課長

重ならないように調整は県内の学校にもしております。2点目はですね、この1次試験は、これまで東海3県1市、愛知、岐阜、三重、名古屋市で足並みを揃えてやっております。

大森委員

この日程、今日報告を受けて、これはいつ発表されるんですか。

教育長

今日の記者会見で。三重県については。

大森委員

三重県については今日やるということですね。

教育長

そうです。

大森委員

分かりました。

教育長

これ全国はまた別。色々な県があつてばらばら。

福井課長

はい。

大森委員

結局、今年については全国一斉じゃないから、例年どおりだと三重県を第一志望で、神奈川県を受けに行くっていうことがあり得るということですよ。これまでどおりいくということは。

福井課長

そうですね。

教育長

あと文科省が共通の試験を作るって言うてるのは、6月16日実施の小学校の試験だけ。

福井課長

小学校の試験だけです。来年はそうです。

大森委員

来年からそうなんですか。

若宮班長

来年度については、文科省が改めて作るわけではなく、小学校の検定試験の問題を流用するという、6月16日に検定試験が行われるその問題を小学校については流用するというだけで、まだ文科省が改めて作るというのはもっと先の話なのかと。

教育長

検定試験って何の検定試験。

若宮班長

小学校の教員の免許を取得する検定試験が行われておりまして、その試験の問題をその日に実施する県は流用してもいいよということです。

—全委員が本報告を了承する。—

・報告事項

報告3 令和5年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について（公開）

（早田小中学校教育課長説明）

報告3 令和5年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について

令和5年度第2回三重県教科用図書選定審議会の結果について、別紙のとおり報告する。

令和5年7月25日提出 三重県教育委員会事務局 小中学校教育課長

まず、別紙の1ページをご覧ください。令和5年6月15日に開催しました令和5年度第2回三重県教科用図書選定審議会の概要について報告いたします。

6月15日は2点審議を行いました。1点目、3（1）の「令和6年度使用小学校用教科用図書選定に関する参考資料（案）」についてです。事務局から、まず、選定委員の皆様に対して、基本的な態度として主観的、独善的な見解を避けるなどの公正を確保したことや、調査実施項目の観点をもとに、各種目で着眼点を定めたことを説明しております。その上で、全13種目の調査概要について各調査員からプロジェクターを用いて報告

を行い、審議会委員による参考資料（案）の審議を行ったところでございます。

その出来上がりでございますが、机上に配付しておりますこちらの青い冊子をご覧ください。教科用図書選定に関する参考資料でございます。表紙を1枚おめくりいただきまして、さらにもう1枚おめくりいただきまして、「1 調査の基本的態度」がございます。この中で、この冊子の目的を示しております。1行目でございます。この冊子は、令和6年度から使用する小学校の教科用図書の採択にあたって、各地区教科用図書採択審議会が独自の立場で行う教科用図書の調査研究に資するため作成したものでございます。

また、6行目でございますように、この冊子は、採択の対象となる個々の教科用図書の調査研究に基づいて、それぞれの特色を明らかにし、採択にあたっての具体的な参考資料として役立つようまとめたものでございます。

次の2ページでございますが、次のページの表が教科用図書の発行者別一覧でございます。11教科13種目の教科書について、16の発行者から出されております。これら全ての教科書について調査研究を行いまして、それぞれの教科書の特色をまとめたものがこちらの参考資料でございます。

例えば、ここで例を紹介いたします。2ページおめくりいただきまして、国語の1ページをお開きください。1ページでは、国語の調査研究を行うにあたって、3つの観点とそれぞれの着眼点を示しております。1枚おめくりください。2ページでございますが、観点1の学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫について、教科書ごとに7つの着眼点に基づいて記述しております。1枚おめくりいただきまして4ページでございます。4ページには、観点2の使用上の便宜について、内容別配当の分量であったり、教材資料等の分量等について、教科書ごとに数値を示しております。さらに5ページ下の「3 その他」のところでございます。こちら観点3のその他としまして、今日的課題への配慮等などについてまとめております。

以降、他の12種目についても同じようにまとめております。これらの各教科書についての調査概要についてでございますが、別紙の1ページのところにお戻りください。①「ア 各種目・教科書共通の特徴」でございます。各教科等の見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習内容や児童同士の対話による活動の場面が設定されるなど、主体的対話で深い学びの実現に向けた工夫がされております。

また、2番目の○でございますが、全ての教科書にICTを活用した学習活動の充実を図るため、学習をする上で参考となるサイトや動画、音声などにアクセスすることができる二次元コードが掲載されております。

続きまして、「イ 主な種目における特徴等」でございますが、本日この後発表いたします2番目の○でございますが、英語では、令和6年度からデジタル教科書が全ての小中学校に配布されることから、本年度は文部科学省から小学校英語のデジタル教科書の見本が示され、紙の教科書と併せて調査を行っております。

調査結果から、英文の読み上げ速度の調整等ができる機能や、タブレット端末での使用を想定した書き込み機能などについて工夫されていることが分かっております。ここで具体的に、英語についてどのような形で報告したということをあちらの画面で紹介させていただきます。

(篠田充指導主事説明)

英語の調査結果についてご報告いたします。参考資料 70 ページをご覧ください。英語については、調査項目をふまえ、70 ページの観点、着眼点に基づき調査研究を行いました。ただいまからこの観点、着眼点のうち、(2)「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を高め、言語能力の育成や論理的思考力を育成するための工夫」、(3)「視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、学習活動の充実を図るための工夫」についてご説明いたします。

まず、(2)「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を高め、言語能力の育成や論理的思考力を育成するための工夫」についてです。

「2 東書」では、重要表現を学習した後、実際の場面を想定して、コミュニケーションを行い、その後、言語の背景にある文化を学ぶ活動が設定されています。「9 開隆堂」では、これから学ぶ単元の概要を掴んでから、やり取り、チャンツ、チャンツというのは、英語の表現を一定のリズムに乗せて発音することなんですけれども、やり取り、チャンツ等で表現に慣れ、自分の思いを伝える言語活動をし、その後、読む・書く活動が設定されています。「15 三省堂」では、これからの学びで目指す姿を映像で確認してから、リスニング、ペアやグループ等で行う活動へと展開するなど段階的に設定されています。

「17 教出」では、映像を見て、これから学ぶ単元の概要を掴み、スモールステップで表現に慣れ、発信技能の育成につながる流れが設定されています。「38 光村」では、スモールステップで学習できるように単元構成され、自分の考えを伝える活動では、既習表現が活用できるように工夫されています。「61 啓林館」では、言語材料の意味や使用場面を推測した後、定着するように表現を学び、自分の思いを伝える活動へとつながるように設定されています。

続いて、(3)「視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、学習活動の充実を図るための工夫」についてです。

「2 東書」では、教科書及び別冊に二次元コードがあり、映像や音声のコンテンツにアクセスできるようになっており、学校だけでなく、家庭においても活用できるようにしています。「9 開隆堂」では、教科書及び別冊に、二次元コードが右上に統一して掲載されており、表現活動の充実に向けた工夫があります。「15 三省堂」では、二次元コードは教科書や別冊のページ右上に一貫して掲載されており、音声や視覚教材を使った表現の充実に向けた工夫があります。「17 教出」では、導入や表現活動のモデル動画などを二次元コードから視聴することができ、表現活動の充実に向けた工夫があります。次の「38 光村」では、単元の活動に係る音声や映像、発表等のモデルを二次元コードから視聴でき、学習活動の充実を図るための工夫があります。「61 啓林館」では、言語の使用場面や状況、単元で目指す姿をイメージできる映像、チャンツ、単語クイズ等の二次元コードが用意され、学習活動の充実を図るための工夫があります。

最後に、どの教科書も学習者用デジタル教科書が用意され、子どもたちがデジタルコンテンツを活用することで、学びを深めることができる工夫があります。

以上、英語の調査結果について概要をご報告させていただきましたが、詳細について

は、参考資料の 70 ページから 78 ページにまとめさせていただいたとおりでございます。

(早田小中学校教育課長説明)

このような形で 13 種目について説明した後に、選定審議会委員の皆様には審議をいただきました。別紙の 2 ページをご覧ください。頂戴しました意見としては、「本参考資料は調査員が調査を行った資料であるため、工夫しているというような能動的な表現ではなく、工夫されているというような表現が適切ではないか」というご意見や、「特徴的な、鮮明な、親しみやすいなどの主観的な表現が散見されるので、これについては修正が必要ではないか」というご意見を頂戴しております。

この第 2 回選定審議会委員会では、それらの意見をふまえて事務局として修正をした後に、会長の一任をいただくという形で決定をしたところでございます。

続きまして、2 ページの下にあります(2)の「三重県教育委員会の答申について」でございますが、参考資料(案)について修正し、会長に一任され決定した後に、答申を提出するという事について承認がされたところでございます。その答申が 3 ページにございます資料 1 の内容でございます。

最終的には、6 月 26 日に会長により最終決定されまして、この答申が提出されたところでございます。これに基づき、教科用図書選定に関する参考資料を 6 月 30 日付で市町教育委員会、採択地区協議会等に送付しております。

以上、令和 5 年度第 2 回三重県教科用図書選定審議会の結果について、ご報告いたします。

【質疑】

教育長

報告 3 はいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・報告事項

報告 4 第 70 回東海高等学校総合体育大会の結果及び令和 5 年度全国高等学校総合体育大会の三重県選手団について(公開)

(堀越保健体育課長説明)

報告 4 第 70 回東海高等学校総合体育大会の結果及び令和 5 年度全国高等学校総合体育大会の三重県選手団について

第 70 回東海高等学校総合体育大会の結果及び令和 5 年度全国高等学校総合体育大会の三重県選手団について、別紙のとおり報告する。

令和 5 年 7 月 25 日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長

1 ページをご覧ください。第 70 回東海高等学校総合体育大会は、静岡県において 6 月 17 日土曜日から 18 日日曜日に 31 競技が開催され、本県からはおよそ 1,700 名の高校生が参加しました。なお、水泳競技につきましては、7 月 21 日金曜日から 23 日日曜日に実施されたことから、今回の結果に反映できておりませんのでご了承ください。

続きまして2ページをご覧ください。ここでは、団体競技において、3位まで入賞した学校を掲載してあります。本県の優勝校としましては、男子では、ソフトテニス競技の三重高校、ヨット競技の津工業高校、カヌー競技の桑名西高校の3校、女子では、バレーボール競技の三重高校、ソフトテニス競技の三重高校、テニス競技の四日市商業高校、体操競技の暁高校の4校の合計7校となります。

前述のとおり、この結果には水泳競技の結果は反映されていませんが、令和4年度と比較しますと、3位校は15校から18校と増加したものの、優勝校は10校から7校、2位校は17校から12校とそれぞれ減少したことが分かります。

続きまして、3ページから6ページをご覧ください。ここでは、個人競技において3位までに入賞した選手を掲載してあります。男子は9競技19種目、女子は9競技18種目において優勝しました。個人種目にも、水泳競技の結果は反映されていませんが、令和4年度と比較しますと、2位の入賞数は40件から57件と17件増えたものの、優勝数は48件から37件、3位校は73件から55件とそれぞれ減少したことが分かります。

続きまして7ページをご覧ください。令和5年度全国高等学校総合体育大会について報告いたします。令和5年度は北海道を中心に7月21日金曜日から開催されています。なお、総合開会式につきましては、7月22日土曜日に開催されました。本県選手団は、嶋田和彦県高等学校体育連盟会長を団長に、三重高等学校ソフトテニス部の中内謙秀選手を旗手として、50校から男子307名、女子227名の合計534名の高校生が参加します。

本県選手団の詳細につきましては、別冊の令和5年度全国高等学校総合体育大会三重県選手団名簿をご覧ください。水泳競技につきましては、第70回東海高等学校総合体育大会が7月21日金曜日から23日日曜日に実施されたことから、参加者数には反映したものの名簿には反映されておりませんのでご了承ください。

今年度の大会につきましては、全て有観客で開催されることになっております。また、大会の様子につきましては、インハイTVで全ての競技がライブ配信されるとともに、一部競技はテレビ放映が予定されています。同大会における本県選手団の結果につきましては、次回以降の教育委員会定例会で報告させていただく予定をしています。

報告は以上です。

【質疑】

教育長

報告4はいかがでしょうか。

—全委員が本報告を了承する。—

・閉会宣言